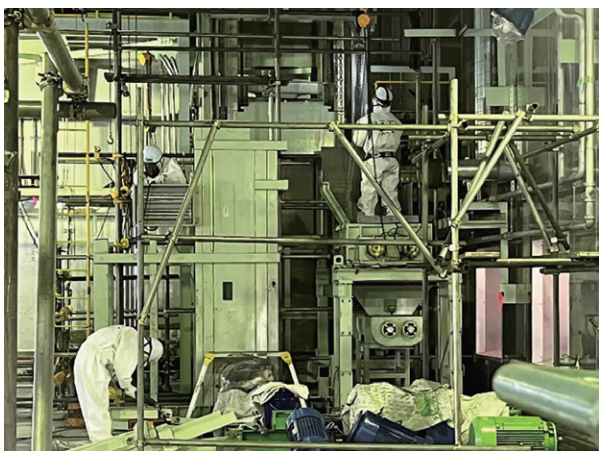


JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.270)

1. 解体撤去工事の進捗状況について

【高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事】

令和8年9月現在、裁断破碎エリアの設備の解体撤去を行っており、順調に工事を進めています。同エリアの解体撤去を行う設備の予定重量は、約73tですが、約61tの解体撤去が完了(84%の進捗)しています。同エリア終了後は攪拌洗浄エリアの一部(予定量:約6t)、大型/車載トランス解体エリア(予定量約310t)の解体撤去を行います。いずれもPCBが付着している設備の解体撤去になりますが、今後も引き続き安全第一で工事を進めてまいります。



裁断破碎エリアの解体撤去状況



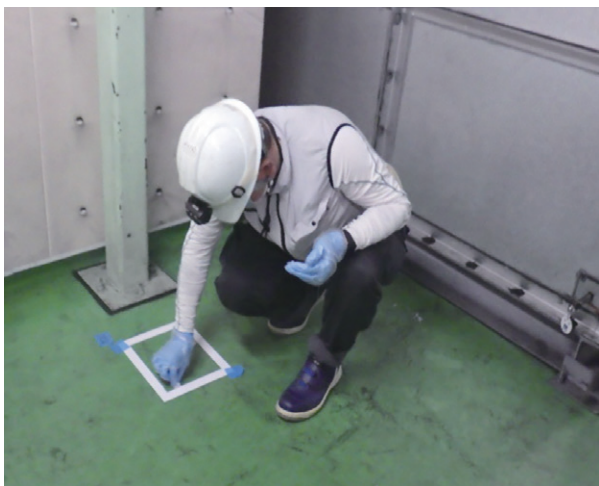
設備の解体・切断状況

【建屋のPCB付着状況調査】

プラント設備を解体後、建屋の解体撤去を行う予定ですが、建屋の床や内壁等がPCBに汚染されていた場合は拭き取りや清掃等の除去分別※を行わなければなりません。そのため、建屋解体前に各々の部屋や通路、エリアごとに、床や内壁等へのPCBの付着状況を確認するため、建屋のPCB付着状況調査を開始しました。

今後は、プラント設備の解体撤去を行いながら、建屋の解体に向けた必要な事前作業を計画的に行っていきます。

※PCBを除去、又は、PCB付着部分を分別する作業。



床の拭き取り試験の状況



壁材の試料採取の状況

2. 令和8年度安全セミナーについて

豊田PCB処理事業所では、平成22年度に発生した漏洩事故等の反省を踏まえ、平成23年2月に「豊田事業所再生計画」を策定しました。

この再生計画では、JESCOおよび運転会社の社員を対象に、毎月安全セミナーを開催することを掲げています。

8月に開催した第5回安全セミナーでは、「緊急時の119番通報」をテーマに、緊急時における通報方法や情報伝達のポイントについて学びました。



安全セミナー

119番通報には、固定電話や携帯電話による通報に加え、聴覚障がいや音声・言語機能に障がいがあり音声による通報が困難な方を対象とした、FAXやインターネットを活用した119番通報など、さまざまな手段があることが紹介されました。

また、通報の初期段階で重要となる「災害発生場所を消防機関へ正確に伝える方法」について、住所、電柱の番号、信号機名および緯度・経度等、状況に応じた伝達手段があることを確認しました。

参加者は、社内で緊急事態が発生した際の迅速な通報の重要性に加え、社外においても災害発生時に迅速かつ正確に情報を伝えることの重要性を改めて認識するとともに、初動対応や被害の軽減につながる知識を深めることができました。

3. クールダウン室の設置について

今までは処理棟内での作業後に空調が効いた部屋で休憩をするには、処理棟外に出る必要がありましたが、今年の夏は熱中症対策として、処理棟内に手洗い場があり、空調が効いた作業員が休めるスペース(クールダウン室)を設置しました。また、緊急用に冷たい飲料等を常備し、熱中症予防と対応を兼ね備えた部屋としています。現場作業員の方からは、作業のオンオフを切り替えやすくなり、効率も上がったとの声をいただいています。今後も当事業所の状況に応じて健康を守るための対策を行ってまいります。



クールダウン室の入口



クールダウン室内



デジ丸

問合せ先

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

アザラシのびーちゃん

